

令和5年12月14日

本地連区防災訓練

(本地連区3地区での防災訓練・瀬戸市民総ぐるみ防災訓練)

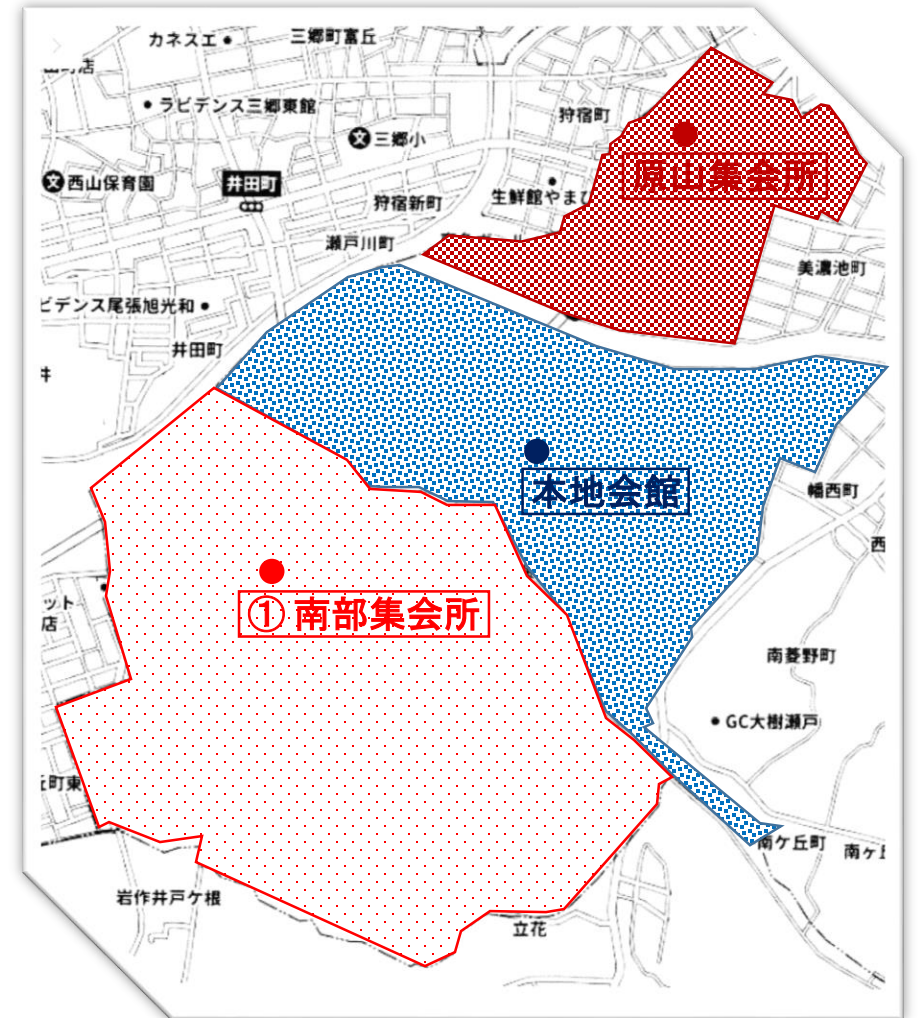


本地連区自治会

本地連区を3地区に分けての防災訓練

本地連区では、毎年町内会長・組長が変わり、現状の年1回の防災訓練だけでは、いざ災害が発生した場合に心配な面もあり、本地独自の防災訓練をとの考えで、平成29年度から11月の瀬戸市民総ぐるみ防災訓練の前に、数多く訓練を経験させたいとの思いで、本地連区を3地区に分け小規模の防災訓練を実施しています。

- ① 南部集会所 (7町内: 720世帯)
(山の田町、坊金町北・南、坂上町西・東、井戸金町、小坂町)
- ② 本地会館 (4町内: 209世帯)
(東本地町1~3丁目、駒前町、西本地町1・2丁目)
- ③ 原山集会所 (4町内: 568世帯)
(西原町1・2丁目、高根町1~3丁目)



防災リーダー研修会

過去は防災リーダーとしての研修会でしたが、3地区での防災訓練を実施することになり、防災リーダーに地区の責任者として自立及び指導者となってもらうために、現状は開催しています。

- ・開催日：令和5年7月13日(木)19:00～21:00
- ・場 所：瀬戸市消防署 南分署
- ・参加者：15人
- ・講師：幡山消防分団

研修内容：

- ① 水消火器を使用した初期消火訓練
- ② 簡易タンカによる緊急救出・応急処置訓練
- ③ AEDを使用しての操作訓練



初期消火訓練



緊急救出・応急処置訓練



AED操作訓練

本地連区自治会防災関連配布物

1. 防災マップ

- 各町内毎に作成して「組集合場所、一時集合場所、危険個所、消火器設置場所、井戸等」を記載



2. 本地の防災ファイル

- 防災手順書及び非常時持出品チェックリスト

3. 本地連区震災時避難計画

- 「地震があったら、報告伝達事項、緊急避難所、平常心の心得」を掲載

4. 災害時安否確認タオル

- 「無事です」タオル

以上、4点を全戸配布してあります。



非常時持出品チェックリスト

準備しておきたい非常時持出品

用意をしたら チェックしましょう。

<input type="checkbox"/> 懐中電灯 電池は切れていませんか？ 予備の電池もお忘れなく。	<input type="checkbox"/> ラジオ 電池は切れていませんか？ 予備の電池もお忘れなく。
<input type="checkbox"/> ろうそく・ライター マッチもお忘れなく。 必ず着火するが時を試してください。	<input type="checkbox"/> 飲料水 1日約3リットル が必要です。
<input type="checkbox"/> 緊急医薬品 病気の方がいる場合はその薬も、 赤ちゃんがいる場合はミルクなどもお忘れなく。	<input type="checkbox"/> 非常食 賞味期限のチェックはお忘れなく。
<input type="checkbox"/> 現金・貴重品 いざというときに持ち出せるように、 保管場所を決めておきましょう。	<input type="checkbox"/> ビニール袋 (大) 防湿や防臭トイレ にも役立ちます。
<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> 子供用ミルク・ ほ乳瓶・紙おむつ
<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 軍手
<input type="checkbox"/> 介護用品	<input type="checkbox"/> その他

必要に応じて準備しておきましょう

非常時持出品袋などは、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

本地連区震災時避難計画

2019.9

地震があったら (避難計画)

家の内外で立ってられないほど (震度5弱以上) の大きな地震があったとき、まず自分の命を守る行動をとってください。揺れが止まったのに火の始末、出口を確保し、家族の安否を確認する。大丈夫であれば「安否確認タオル」を玄関口に掲げ、そして組集合場所に集まってください。(被害の有無に関係なく、家族のうち一人だけでも組集合場所に出向いてください) 組集合場所では、組長または組長から委託された方がリーダーとなり、集まった人で分け合って地域の要避難支援者の避難支援にあたり、組世帯の安否確認と、地震の被害状況を調査し、救助が必要な人がいないか確認します。もし組域で火災発生や救助が必要な人がいる場合は、組内で組織を編成し消火救助活動に当たってください。119通報も行ってください。

そして調査結果をいっき集合場所へ報告してください。

いっき集合場所では、町内会長またはその代行者が町内全組域の安否、被害状況の報告を受け、その結果を本地連区自治会へ電話報告してください。電話が不通の場合は、本地連区もしくは緊急避難場所へ伝言してください。さらに自宅・組域に留まることに危険を感じている人全員を引率して緊急避難場所 (備山西小学校グラウンドもしくは、聖カピタニオ女子高等学校運動場) へ徒歩で向かってください。

地震

家庭 自分を守る行動
揺れが治まったら、火の始末・出口確保
家族の安否確認→安否確認タオル掲出
組集合場所へ集まる

組集合場所 地域の要避難支援者の避難支援
組世帯の安否確認、被害状況調査
消化救助活動
集めた情報をいっき集合場所へ伝達
避難する人は、いっき集合場所へ向かう
(自宅安否確認タオル取り外し、
電源ブレーカー切断、非常持ち出し袋持参)

いっき集合場所 町内全組域の安否と被害状況を集める→自治会または緊急避難場所へ報告
組織の消化救助活動があれば人的応援手配
自宅・組域に危険を感じている人全員で緊急避難場所へ向かう

緊急避難場所
(備山西小学校グラウンドもしくは
聖カピタニオ女子高等学校運動場)
緊急避難所
(備山西小学校体育館)

各町内の安否状況と被害状況を集計する
緊急避難所 (体育館) の安全点検
緊急避難所の開設運営

本地地域力向上委員会・本地連区自治会

本地連区3地区での防災訓練

① 南部集会所(避難場所を想定)

・令和5年8月27日(日) 8:00～10:30

・参加者:70人(町内会長、組長、防災リーダー、防火防災委員)

② 本地会館(避難場所を想定)

・令和5年9月7日(日) 8:00～10:30

・参加者:40人(町内会長、組長、防災リーダー、防火防災委員)

③ 原山集会所(避難場所を想定)

・令和5年10月1日(日) 8:00～10:30

・参加者:47人(町内会長、組長、防災リーダー、防火防災委員)

訓練内容:

- ・第一部:シェイクアウト、家の中の家族の安否確認、地震後の建物・設備確認、組集合場所・一時集合場所への集合・安否確認訓練
- ・第二部:初期消火訓練、緊急救出・応急処置訓練、AED操作訓練



南部集会所 初期消火訓練



本地会館 AED操作訓練



原山集会所 緊急救出訓練

安否確認タオルを掲げた家の事例



災害時 無事を伝える 安否確認用タオル

災害時、ベランダやドアなどに、このタオルを掛けるだけで、安否確認が迅速に行えるようになります。ご家庭で掲げる場所を決めて、近くに保管しておきましょう！



表面(熨斗紙名入れ可)



裏面



本地連区3地区での防災訓練結果

開催場所	① 全世帯数	② 安否札を 掲出した世帯	③ 安否札 未掲出世帯 (①-②)	④ 未掲出世帯のう ち、声掛け安否 確認ができた世帯	⑤ 安否確認 完了世帯 (②-④)	安否割合 (⑤/①)
南部集会所	671	401	270	143	544	81.1%
本地会館	205	144	61	31	175	85.4%
原山集会所	479	341	138	77	418	87.3%
合計	1,355	886	469	251	1,137	83.9%

※ 今年度から瀬戸市の方針で、安否札未掲出世帯について声掛け安否確認を実施した結果、
②安否札掲出世帯:60%程度に対して、⑤安否確認完了世帯:80%以上となり、声掛け確認
の重要性が大事であることを認識しました。

令和5年度「瀬戸市民総ぐるみ防災訓練」

開催日 令和5年11月19日(日) 8:00~11:00

1、安否確認訓練

- ・シェイクアウト、家の中の家族の安否確認、地震後の建物・設備確認、
- ・組集合場所・一時集合場所への集合 ⇒ 災害情報伝達票へ記入して報告

2、避難行動支援訓練

- ・避難所までの避難ルートの決定・要介護者の支援

<第二部>

1、徒歩避難訓練(遠い地区は車を使用)

- ・町内会長、組長、防災リーダー、防火防災委員が幡山西小学校に集合

2、災害情報伝達訓練

- ・災害情報を集計し、その結果を対策本部に報告

3、避難所開設・運営訓練

- ・幡山西小学校の体育館で、避難所開設では運営用配置図を作成し、避難所開設訓練を実施
- ・防災倉庫の場所等を確認、保管してある「間仕切り・パーソナルテント(トイレ用)・ダンボールベッド」の作成、発電機の試運転を実施
- ・アルファ米の炊き出し訓練を実施し、参加者に配布

瀬戸市民総ぐるみ防災訓練 本地連区自治会結果報告

開催場所	① 全世帯数	② 安否札を掲出した世帯数	③ 安否札未掲出世帯 (①-②)	④ 未掲出世帯のうち、声掛け安否確認ができた世帯	⑤ 安否確認 (③-④)	安否割合 (⑤/①)
せと市民総ぐるみ 防災訓練	1,351	839	512	271	1,110	82.2%
本地3地区 防災訓練	1,355	886	469	251	1,137	83.9%
増減	▲4	▲47	43	20	▲27	▲1.7%

- ・③安否札確認世帯が、3地区での実施結果より減少した。
▲47世帯 安否札掲出率(②/①) 62.1%(▲3.3%「3地区:65.4%」)
※ 3地区防災訓練では、合図の代わりに青パトを使用して町内を巡回した。
- ・声掛け確認を実施した結果、最終所在不明世帯(③-④)が3地区での実施結果より増加した。
+23世帯 不明世帯率:17.8%(+1.7%「3地区:16.1%」)



防災訓練は必要であり、継続することが大事である

瀬戸市民総ぐるみ防災訓練を終えて

《良かった事》

- ・事前に3地区に分けての防災訓練を実施しているため、声掛け確認・集計がスムーズに進んだ。
- ・安否札未掲出世帯に対して、声掛け安否確認をした結果、安否確認率が20%程度上昇したので、声掛け確認重要であることを認識した。
- ・炊き出し訓練・発電機の運転・防災倉庫内の「間仕切り・パーソナルテント（トイレ用）・ダンボールベッド」の作成、発電機の試運転ができ、参加者から初めて見たとの声もあり、実施して良かった。

《今後の課題》

- ・避難所開設訓練は、幡山消防分団・防災リーダーの経験がなく、避難所の図面・記入帳票を使用していたため、避難所開設について指導者となる講習会が必要だと思った。
- ・本地地区は、消防分団のサイレンが聞こえないため、他に合図の方法はないのか？

